

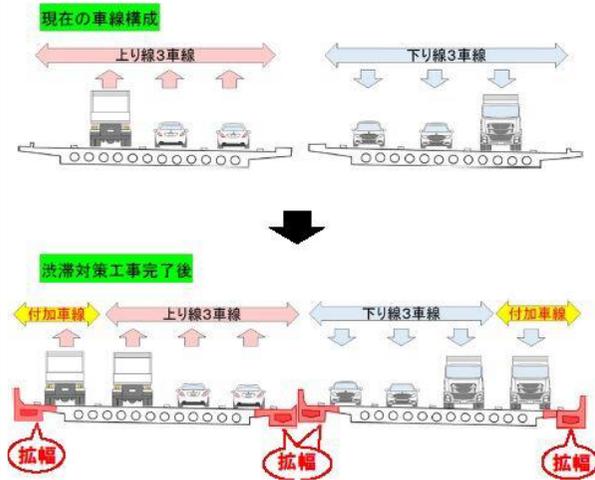
東名高速道路の渋滞対策

東名高速道路は、三大都市圏を結ぶ大動脈であるとともに、本県においては、県外に開かれたネットワークを形成する重要な道路です。しかしながら、東名高速道路の大和トンネル付近や綾瀬スマートIC付近などでは、交通容量不足等により慢性的な渋滞が発生しています。

こうした中、高速道路ネットワークの機能を最大限発揮させるため、東名高速道路では、令和4年11月までに、大和トンネルを含む区間の拡幅や、横浜町田IC下り線の加速車線の延伸が完成し、運用を開始しており、残る区間については、現在、工事等が進められています。

また、綾瀬スマートIC付近の上り線についても、付加車線設置による渋滞対策が事業化され、現在、対策の検討が進められています。

東名高速道路 渋滞対策工事の概要 ～トンネルや橋を拡幅して付加車線を設置～



渋滞対策の概要(橋梁の拡幅)

大和トンネル付近(上り線、名古屋側坑口)の交通状況の変化



工事着手前



2021年7月運用開始後